

教育課程の展開例を活用したタブレット活用のアイデア

1 活用した教育課程の展開例 → 特6-6

2 展開例を活用したタブレット活用のアイデア

4 指導過程

	学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点
<p>① ロイロノート のアンケート機能 を活用して、 グラフ資料を提 示する。</p>	<p>1 めあてをつかむ グラフから今の学級 に対してどのような思 いをもっているのかを つかむ。</p>	<p>○ 事前のアンケート結果をグラフにした資料を 提示し、今の学級に対してできていないと思っ ている内容の項目に着目させる。</p> <p> 『優しい』は達成できているね。 『協力』と『けじめ』は少し低いね。</p>
<p>② ロイロノート のシンキングツ ールを活用し て、比較整理し て、自分の考え を決定する。</p>	<p>2 自分の考えをもつ グラフのどの項目に 力を入れるとよりよい 学級になるのかについ て考えをもつ。</p>	<p>○ グラフを基にしてどの項目を見直していくと よいか、理由と共にワークシートに書かせるよう にする。</p> <p>『協力』ができれば、6年生として団 結して行事を成功させることができそう！ </p>
<p>③ SKYMENU のポジショニ ング機能を使い、 一人ひとりの立 場を可視化し、 全体の傾向を提 示する。</p>	<p>3 なかまと対話する (1) 学級全体で話し合 ってどの項目を見直 していくのかを決め る。 (2) 小グループで話し 合って、学級目標の改 訂案を考える。</p> <p>4 まとめる・振り返る 全体で案を吟味し、学 級目標を決定する。</p>	<p>○ ワークシートを基に、どの項目を見直したいか 理由と共に発表させ、それに対して意見を求める ようにする。</p> <p>○ 話し合いや多数決を通して、現段階の学級の実態 に合った項目に絞っていくよう声を掛ける。</p> <p>○ 4人程度のグループをつくり、決まった項目を 基に学級目標の見直し案を考えさせ、画用紙に書 かせるようにする。</p> <p>○ 案が書かれた画用紙を黒板に貼り、話し合いや多 数決でどの改定案に取り組むのかを決定するよう 指示をする。</p> <p>○ 児童が熱心に取り組んでいた部分を取り上げ、 学級目標に照らして認めるようにする。</p>

3 タブレット活用の有効性について

- ① ロイロノートのアンケート機能を活用することによって、アンケート結果を瞬時に可視化・共有できる。
- ② ロイロノートのシンキングツール機能を活用することによって、出された意見を比較・整理しやすくなり、それぞれの意見の相違点や関連性、重要性などを捉えやすくなる。
- ③ SKYMENU のポジショニング機能を活用することによって、全体の傾向を常時把握することができるので、話し合い活動を活性化させたり、話し合いの道筋をイメージしたりすることができる。